

# 調達ガイドライン

2024年1月

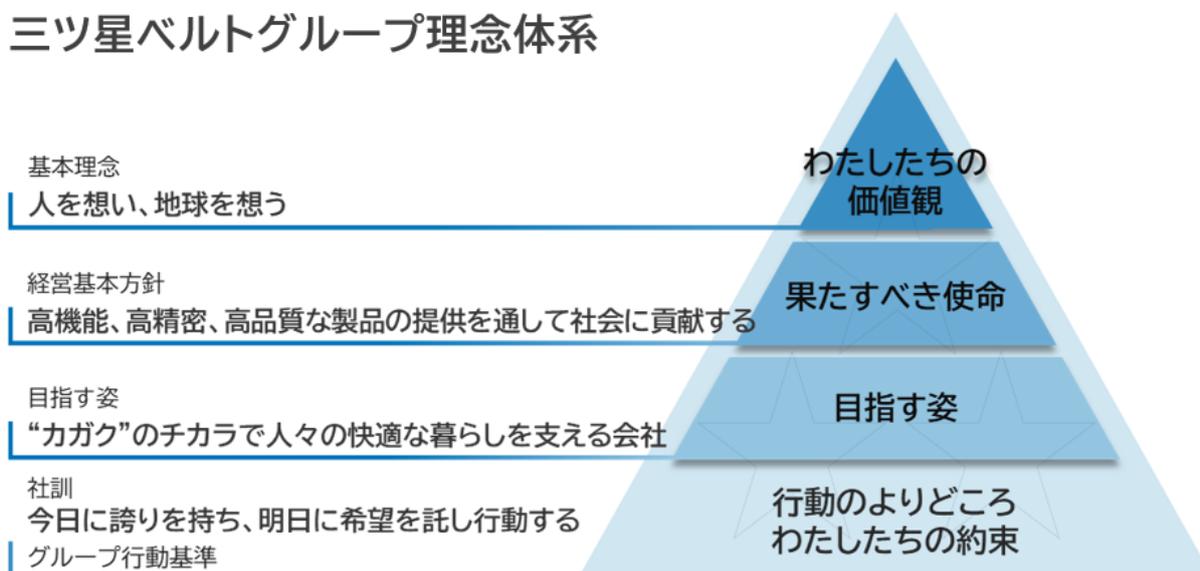


## 目次

<b>1. 三ツ星ベルトグループ 経営方針</b>	<b>3</b>
1.1 三ツ星ベルトグループの理念体系	
1.2 三ツ星ベルトグループ 調達方針	
<b>2. 三ツ星ベルトグループ 調達ガイドライン</b>	<b>4</b>
2.1 コンプライアンスの徹底	
2.2 人権の尊重と労働環境への配慮	
2.3 環境への配慮	
2.4 公正な企業活動の維持、腐敗の防止	
2.5 品質の確保	
2.6 安全衛生の確保	
2.7 情報セキュリティの強化	
2.8 サプライチェーンの管理	
2.9 地域社会との共生	
2.10 適切な情報開示の実施	
<b>3. 三ツ星ベルト 方針類</b>	<b>6</b>
3.1 人権方針	
3.2 環境基本方針	
3.3 品質基本方針	
3.4 労働安全衛生基本方針	
3.5 情報セキュリティ方針	

# 1. 三ツ星ベルトグループ 経営方針

## 三ツ星ベルトグループ理念体系



## 三ツ星ベルトグループ 調達方針

三ツ星ベルトグループは、基本理念「人を想い、地球を想う」のもと、公正・公平な調達活動を行い、お取引先と相互に信頼できるパートナーシップの構築に努めてまいります。

### 1. 公正・公平な取引

取引を希望されるお取引先に対して、公正・公平な取引の機会を提供いたします。  
お取引先の選定に際しては、品質・技術力・納期・価格・供給の安定性などを総合的に勘案しています。

### 2. パートナーシップの構築

公正・公平な取引を通して相互に信頼できるパートナーシップを構築し、双方の発展を目指します。

### 3. 法の遵守と機密保持

調達活動を行うに際し、関連する法令および社会規範を遵守し、また、調達取引において知り得たお取引先の機密は、お取引先の承諾なしには第三者に開示いたしません。

### 4. CSR 調達の推進

法令、社会規範を遵守し、人権尊重、安全衛生、情報セキュリティ、またはそれらに係る適時・適切な情報開示など、社会的責任を果たす調達を推進してまいります。

### 5. グリーン調達の推進

地球環境の保全、持続可能な社会の実現に向け、お取引先とともに環境負荷の低減に配慮した調達活動に取り組めます。

2023年2月1日

## 2. 三ツ星ベルトグループ 調達ガイドライン

環境や社会に対する企業の果たすべき役割がより大きくなった今、三ツ星ベルトグループは、自社のみならず三ツ星ベルトグループのお取引様と一体になって事業活動を通じて環境価値・社会価値の向上に努めることが重要であると考えています。三ツ星ベルトグループの理念・価値観へのご賛同をお願いすると共に、お取引様におかれましても本ガイドラインに則った事業活動の推進をお願い申し上げます。

### 三ツ星ベルトグループ 調達ガイドライン

#### 1. コンプライアンスの徹底

貴社が事業活動を行うそれぞれの国・地域における法令や社会規範を守り良識に沿った行動をお願いします。

- 企業倫理を尊重し、社内規程を遵守していかなる不正も行わない。
- コンプライアンス徹底のための方針や体制、通報制度などの仕組みに基づいて業務・教育を遂行する。

#### 2. 人権の尊重と労働環境への配慮

人権・人格の尊重をお願いします。また、「三ツ星ベルトグループ人権方針」へのご理解・ご賛同をお願いします。

- 人種、国籍、性別、性的指向、性自認、年齢、宗教、信条、民族、移民、障がいの有無、貧困者、配偶者や子の有無その他いかなる理由があっても差別を行わない。
- 虐待、体罰、あらゆる形態のハラスメント（嫌がらせ）などの非人道的な扱いや、個人の尊厳を傷つける行為を行わない。
- 法令を遵守した適正な賃金を支払う。
- 法令に基づいた労働時間を遵守し、休暇を確保する。
- あらゆる形態の強制労働を行わない。
- 身分証明書または労働許可証の不当預かりや、預託金の不当徴収を行わない。
- 法定就労年齢未満の児童を雇用しない。
- 従業員の結社の自由と団体交渉の権利を保証する。

#### 3. 環境への配慮

持続可能な社会の実現のため、各種環境への取り組みの積極的な推進をお願いします。

- 環境上の課題に対する継続的な改善を行う環境マネジメントシステムを確立し、省資源や省エネルギー活動に取り組む。
- GHG（温室効果ガス）の排出量削減に取り組む。
- 廃棄物の削減やリサイクルに取り組む。
- 排水・汚泥・排気の管理及び発生量の削減に取り組む。
- 水資源の有効活用や水リスクへの対応に取り組む。
- 製品中の化学物質を管理し、取扱量の把握、行政への報告などを行う。
- 製品及び製造工程などにおいて法令で禁止された物質を使用しない。
- 原材料を含む事業活動全般において、生物多様性の保全に配慮し、人と自然が共生する持続可能な社会の実現に取り組む。

#### 4. 公正な企業活動の維持、腐敗の防止

商道徳と自由競争を尊重した公正な取引を行い、私的独占、不当な取引制限、不公正な取引方法（不正競争行為、優越的地位の濫用など）を行わないようお願いします。

- 現地行政や公務員、また顧客や仕入先と適切な関係を構築し、腐敗を防止する。
- 反社会的勢力・団体とのあらゆる関係を排除する。
- 第三者の特許権、著作権、商標権などの知的財産権を尊重する。

#### 5. 品質の確保

安定した品質確保のための積極的なお取り組みをお願いします。

- 各法令などで定められた安全基準を満たし、十分な製品安全性を確保できる設計・製造・販売を行う。
- 品質管理システム（ISO9001 など）に準拠した品質保証体制を整備・維持する。

#### 6. 安全衛生の確保

誰もが安心して働けるよう、従業員の安全衛生、健康についての適切な管理を行い、事故、災害の未然防止をお願いします。

- 安全衛生関係法令を遵守する。
- リスクアセスメントおよび安全衛生教育を通じて、労働災害を未然防止に努める。

#### 7. 情報セキュリティの強化

機密情報や個人情報の漏洩を防止し、情報セキュリティの強化をお願いします。

- 守るべき情報資産を明確にしてそれらを適切に管理・保護する。
- 情報セキュリティに関する法令及び契約上のセキュリティ要求事項を遵守する。
- 情報セキュリティに関連する事故が発生した場合は、その原因を迅速に究明し、被害を最小限にとどめられるよう最大限努力するとともに再発防止のための対策を策定する。

#### 8. サプライチェーンの管理

貴社の仕入先様に対しても本ガイドラインを展開し、ガイドラインに記載の各項目の浸透・普及をお願いします。

- 人権・環境などの社会問題を引き起こす原因となりうる原材料の使用による地域社会への影響を考慮した調達活動を行い、懸念がある場合には、使用回避に向けた施策を行う。

#### 9. 地域社会との共生

国際社会・地域社会の発展に貢献できる活動の積極的なお取り組みをお願いします。

- 地域社会とのパートナーシップを大切にする。
- 地域社会の課題解決につながる社会貢献活動を行うよう努める。

#### 10. 適切な情報開示の実施

ステークホルダーに対して適時適切に情報を開示し、企業活動の透明性確保をお願いします。

- 人権・労働安全衛生、環境活動、または財務状況などを適時・適切な情報開示を行う。
- 記録の改ざんや虚偽の情報開示は決して行わない。

以上

## 3. 三ツ星ベルト 方針類

### 三ツ星ベルトグループ 人権方針

三ツ星ベルトグループは、基本理念「人を想い 地球を想う」に則り、ステークホルダーと連携して人権を尊重する活動に取り組みます。この活動の中で国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に示された、人権を尊重する企業の責任を確実に果たしてまいります。

#### ■ 適用範囲

本方針は、三ツ星ベルトグループの全ての役員と従業員に適用するとともに、取引先にも本方針を支持し人権の尊重に取り組んでいただくよう働きかけてまいります。

#### ■ コンプライアンス

様々な国や地域で実施される三ツ星ベルトグループの事業活動はそれぞれの法規制を遵守し実行します。人権の尊重に係る取り組みにおいて、法規制が国連の「国際人権章典」、および国際労働機関の「労働における基本的原則及び権利に関する宣言」に適合しない場合、これら二つの国際的原則を許される範囲で最大限優先させてまいります。

#### ■ 人権デューデリジェンスの実行

本方針の実行において、定期的にも人権デューデリジェンスを行い、リスク（人権への負の影響）の洗い出し、実行課題の抽出、実行計画の策定、実行内容の監視・評価、評価結果の展開を実施し、継続的に取り組み内容を改善してまいります。

#### ■ 実行体制

人権の尊重に係る取り組みの目標が、確実、且つ迅速に達成できるように、役員が実行責任者を務める組織を編成し、人権デューデリジェンスを実行、実行内容のトップマネジメントへの報告を行います。また、ステークホルダーに向けた適切な情報開示を行うとともに、対話・協議も積極的に行ってまいります。取引先を含め三ツ星ベルトグループの事業活動において、人権を侵害する事案が発生した場合、直ちに国際基準に準じた救済を行います。

#### ■ 教育

本方針は三ツ星ベルトグループの役員、従業員をはじめ、ステークホルダーにも通知され、容易に確認できる形で開示されます。また、周知を進め、理解を深めるために適切な教育を実施してまいります。

2023年1月1日

### 三ツ星ベルト 環境基本方針

三ツ星ベルトグループは、全ての事業活動において、「人を想い、地球を想う」の基本理念のもとに、持続可能な社会の実現を目指し、地球規模の視野に立った環境保全活動を行い、社会に貢献する企業づくりを推進します。

#### 1. 環境管理システムの維持

有効に機能する環境管理システムを維持し、全ての事業で展開する環境保全活動をこのシステムで管理します。

## 2. コンプライアンス義務の履行

環境に関する法規制、ステークホルダーとの合意事項、社内規程・要領等を順守します。

## 3. ステークホルダーとの協力

省資源・省エネルギー、環境負荷物質削減等、様々な環境保全活動において、それぞれの課題に設定される環境目標の達成をより確実なものとするために、ステークホルダーとの協力を積極的に進めます。また、地域社会との共生を目指した諸活動にも積極的に取り組みます。

## 4. 技術力の活用

ものづくりの会社として培ったノウハウ、技術等を、“製品ライフサイクル”の視点に立ち、環境保全活動に展開します

## 5. 継続的改善の実施

全ての事業活動において、環境影響を特定、監視し、継続的に改善を行い、環境目標を確実に達成します。環境管理システムを通じて三ツ星ベルトグループの全従業員に、この環境基本方針を周知します。また、全てのステークホルダーが容易に入手できる形で社外に開示します。

2021年10月1日

## 三ツ星ベルト 品質基本方針

“高機能、高精度、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する”

1. 「高機能、高精度、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する」とは、顧客が性能・機能・信頼性等に満足し、社会に役立つ製品を造り、これを提供することをいう。
2. この品質基本方針を達成するために、下記の事項を実施する。
  - ① 顧客の満足を得る製品を開発する。
  - ② 全社品質管理（TQM：Total Quality Management）を充実・レベルアップし、国内外業界トップレベルの品質を確保する。
  - ③ 決めた標準を守って仕事を行う。

1977年10月18日

## 三ツ星ベルト 労働安全衛生基本方針

三ツ星ベルトグループ全従業員の安全と健康確保およびそれを管理するシステムの継続的な改善は、経営の最重要課題であり、全従業員が協力して安全衛生活動に取り組みます。

### 行動指針

全従業員がコミュニケーションを図り、全員参加で安全衛生活動を実行します。

- 安全衛生管理システムが常に有効に機能するように維持、改善を行います。
- 安全衛生関係法令および安全衛生管理規程を順守します。
- リスクアセスメントおよび安全衛生教育を通じて、労働災害の未然防止を図ります。
- 健康診断、メンタルヘルス対策、感染症対策等を実施し、全従業員の健康管理を推進します。
- 交通安全意識を高め、交通事故の撲滅を図ります。

2020年4月1日

## 三ツ星ベルト 情報セキュリティ方針

三ツ星ベルトグループ（以下、「当社グループ」という）は、お客様や取引先の情報と当社グループが保有する情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、社会の信頼に応えるべく、以下の方針に基づき全社で情報セキュリティに取り組みます。

### 1. 情報セキュリティ体制の構築

当社グループは、守るべき情報資産を明確にしてそれらを保護することを目的に、情報セキュリティ体制を構築し、運用します。

### 2. 法令等の遵守

当社グループは、情報セキュリティに関する法令及び契約上のセキュリティ要求事項を遵守します。

### 3. 教育・訓練の実施

当社グループは、従業員に対し、情報セキュリティに関する教育・訓練を継続的に実施します。

### 4. セキュリティ事故への対応

当社グループは、万一、情報セキュリティに関連する事故が発生した場合は、その原因を迅速に究明し、被害を最小限にとどめるとともに再発防止に努めます。

### 5. 継続的改善

当社グループは、事業内容の変更、社会的・技術的变化などに対応するため、情報セキュリティ体制を定期的に見直し改善を行います。

2021年10月1日

## ※ パートナーシップ構築宣言

三ツ星ベルト株式会社は、内閣府、経済産業省、厚生労働省、中小企業庁などをメンバーとする「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」の趣旨に賛同し、「パートナーシップ構築宣言」を公表しています。



「パートナーシップ構築宣言」は、サプライチェーン全体での連携・共存共栄を進め、お取引先との新たなパートナーシップを構築することを宣言するものです。三ツ星ベルトは、お取引先との価値観の共有・共感により相互のエンゲージメントを高め、サプライチェーン全体での価値共創に推進してまいります。